

第二級海上特殊無線技士試験問題

(注) 解答は、答えとして正しいと判断したものを一つだけ選び、答案用紙の答欄に正しく記入（マーク）すること。

法規 12問 } 24問 1時間
無線工学 12問

法 規

〔1〕 次の記述は、電波法の目的である。□ 内に入るべき字句を下の番号から選べ。

この法律は、電波の公平かつ □ な利用を確保することによって、公共の福祉を増進することを目的とする。

- 1 積極的
- 2 経済的
- 3 能動的
- 4 能率的

〔2〕 次の記述は、電波の質について述べたものである。電波法の規定に照らし、□ 内に入れるべき字句を下の番号から選べ。

送信設備に使用する電波の □ 電波の質は、総務省令で定めるところに適合するものでなければならない。

- 1 周波数の偏差及び安定度等
- 2 周波数の偏差及び幅、高調波の強度等
- 3 周波数の偏差、空中線電力の偏差等
- 4 周波数の偏差及び幅、空中線電力の偏差等

〔3〕 第二級海上特殊無線技士の資格を有する者が、船舶局の25,010kHz以上の周波数の電波を使用する無線電話の国内通信のための通信操作を行うことができるのは、空中線電力何ワット以下のものか。次のうちから選べ。

- 1 5ワット
- 2 10ワット
- 3 50ワット
- 4 100ワット

〔4〕 総務大臣から無線従事者がその免許を取り消されることがあるのはどの場合か。次のうちから選べ。

- 1 電波法に違反したとき。
- 2 免許証を失ったとき。
- 3 日本の国籍を有しない者となったとき。
- 4 引き続き5年以上無線設備の操作を行わなかったとき。

〔5〕 無線局の免許人は、その船舶局が緊急通信を行ったときは、どうしなければならないか。次のうちから選べ。

- 1 船舶の所有者に通報する。
- 2 速やかに、海上保安庁の海岸局に通知する。
- 3 総務省令で定める手続により、総務大臣に報告する。
- 4 その通信の記録を作成し、1年間これを保存する。

〔6〕 船舶局の免許状は、掲示を困難とするものを除き、どの箇所に掲げておかなければならないか。次のうちから選べ。

- 1 航海船橋の適宜な箇所
- 2 主たる送信装置のある場所の見やすい箇所
- 3 受信装置のある場所の見やすい箇所
- 4 船内の適宜な箇所

第二級海上特殊無線技士試験問題

法 規

〔7〕 船舶局の遭難呼出し及び遭難通報の送信は、海岸局又は他の船舶局から応答があるまでどうしなければならないか。次のうちから選べ。

- 1 他の無線局に妨害を与える虞^{おそれ}がある場合を除き、反復する。
- 2 少なくとも3分間の間隔をおいて反復する。
- 3 少なくとも5回は反復する。
- 4 応答があるまで、必要な間隔をおいて反復する。

〔8〕 無線電話通信において、応答に際して直ちに通報を受信しようとするときに応答事項の次に送信する略語はどれか。次のうちから選べ。

- 1 OK
- 2 了解
- 3 どうぞ
- 4 送信してください

〔9〕 無線局は、遭難通信等を行う場合を除き、相手局を呼び出そうとするときは、電波を発射する前に、どの電波の周波数を聴守しなければならないか。次のうちから選べ。

- 1 自局の発射しようとする電波の周波数その他必要と認める周波数
- 2 他の既に行われている通信に使用されている電波の周波数であって、最も感度の良いもの
- 3 自局の付近にある無線局において使用している電波の周波数
- 4 自局に指定されているすべての周波数

〔10〕 無線電話通信における遭難通信の通報の送信速度は、どのようなものでなければならないか。次のうちから選べ。

- 1 できるだけ速いもの
- 2 緊急の度合いに応じたもの
- 3 受信者が筆記できる程度のもの
- 4 送信者の技量に応じたもの

〔11〕 遭難通信を行う場合を除き、その使用は、できる限り短時間とし、かつ、1分以上にわたってはならない周波数の電波はどれか。次のうちから選べ。

- 1 156.525MHz
- 2 156.8MHz
- 3 2,187.5kHz
- 4 27,524kHz

〔12〕 船舶局が安全信号を受信したときは、どうしなければならないか。次のうちから選べ。

- 1 自局に関係のないことを確認するまでその安全通信を受信する。
- 2 自局に関係がないものであってもその安全通信が終了するまで受信する。
- 3 できる限りその安全通信が終了するまで受信する。
- 4 少なくとも2分間はその安全通信を受信する。